

## 社会学科 2年次 論文 問題

※ 解答は、すべて解答用紙に書きなさい。

以下の文章を読み、下の設問に解答しなさい。

相互理解というものの困難さは、社会的に種々の角度から指摘されてきた。たとえばあるマイノリティの言語の使用と教育の承認（注）が要求される時、その要求を共感的に理解するという努力はなされなければならない。対話的、説得的なプロセスがなければならない。多文化主義はときに価値相対主義とイコールとみなされ、一部の集団の示す特有の行動を「彼らなりの善の基準に適っているのだろう」とみなし、価値判断を避け、許容する傾向がある。しかし今日もとめられている多文化の尊重は、その種の相対主義ではない。「人権」という原理が、普遍性の高い基準に置かれ、それに適うものでなければならない。次いで対話と解釈の努力のなかで、文化の内的な意味理解がすすめられることが必要である。そうしてこそ、文化の承認は実質的意味をもってくる。

（引用者注）宮島によれば、「承認とは、差異が肯定的に扱われ、支配的文化規範から距離のある価値—規範であれ、尊重されるべきものとして位置づける行為である」。

（宮島喬、2014『多文化であることとは：新しい市民社会の条件』91 ページ、引用の関係から一部を変更している）。

**【設問】**

本文で述べられている「今日もとめられている多文化の尊重」とはいかなる意味か。あなた自身の身近な事例を用いて論述しなさい。

メディア社会学科 2年次 論文 問題

※ 解答は、すべて解答用紙に書きなさい。

次の文章を、よく読み、よく考えて、下記の問1、問2、問3のすべてに答えなさい。

2021年のノーベル平和賞は、フィリピンとロシアの著名なジャーナリストに授与されました。ひとり  
は、フィリピンの調査報道サイト「ラップラー」の共同設立者で記者歴30年をこえるマリア・レッサ代  
表です。もうひとり、ロシアの独立系新聞「ノーバヤ・ガゼータ」を共同創刊し、1995年から編集長  
を務めているドミトリー・ムラトフ氏です。

ノーベル賞委員会は受賞理由について、「民主主義と恒久平和の前提となる表現の自由を守る  
ための勇敢な闘い」に対するものであり、「両氏は、民主主義と言論の自由がさらなる逆境に直面  
する世界で、理想のために立ち上がるすべてのジャーナリストを代表する存在」、「表現の自由、言  
論の自由があつてこそ、国どうしは友好関係を築き、武力を放棄し、よりよい世界秩序をつくるこ  
とができる」と表明しています。

さらにノーベル賞委員会は、「ラップラー」について、「ドゥテルテ政権の暴力的な麻薬撲滅キャ  
ンペーンに社会の注目を集めたほか、ソーシャルメディアがどのようにフェイクニュースを広め、嫌  
がらせや世論操作に使われているかを伝えた」と述べています。「ノーバヤ・ガゼータ」につい  
ては、「これまでにアンナ・ポリトコフスカヤ記者を含む6人のジャーナリストが殺害されるなど、脅迫や  
暴力を受けてきた。こうした脅しにもかかわらず、ムラトフ氏は、編集長として新聞の独立性を放棄  
していない」と高く評価しました。

受賞の知らせに、政権から20を超える訴追を受けているレッサ氏は、事実がなければ何もでき  
ないし、事実のない世界は真実と信用のない世界だということをこの受賞があらわしている、と述べ  
ています。ムラトフ氏は、「受賞を機に抑圧されつつあるロシアのジャーナリズムのため、国家から  
迫害されたり追放されたりしている人たちを支援するため、これからも努力したい」と話しています。

問1 受賞理由(第2段落)の中に、表現や言論の自由があつてこそ、国どうしは友好関係  
を築き武力を放棄できる、という主旨の記述があります。その理由について説明しなさい

問2 文章全体を読み、あなたが考えた以下の3点について、説明しなさい

- 2-1. あなたがもっとも重要だと思ったこと
- 2-2. 重要だと思った理由
- 2-3. そこから、さらにあなたが考えたこと

問3 下線部に関連し、ソーシャルメディアが嫌がらせや世論操作に使われていると考え  
られる事例を一つあげ、具体的・簡潔に説明しなさい

2年次 英語 問題				
転籍・転部・転科・編入		受験番号		
第一部	2年	フリガナ		
社会学部	学科	氏名		

次の英文を読んで裏面の設問に答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。

著作権者の許諾を得ていないため、英文は掲載いたしません。  
 なお、出典情報は以下の通りです。

[出典情報]

出典：『The Guardian』より「Cairngorms crofters: 'We don't follow a capitalist grow-grow-grow model!」

U R L： <https://www.theguardian.com/environment/2021/aug/12/nature-is-interconnected-and-collaborative-and-our-business-is-too>

出版者等：The Guardian

著作者名：Patrick Barkham

注意：解答は解答用紙に記入すること。

問1 下線部の単語<sup>(1)</sup>collaborative ~ <sup>(3)</sup>oversubscribe の最も強く発音する音節を選びなさい。

①col-lab-o-ra-tive  
a b c d e

②ar-chae-ol-ogist  
a b c d

③o-ver-sub-scribe  
a b c d

④en-gage-ment  
a b c

問2 空欄  ~  に入る最も適切な単語を選びなさい。各単語は一度のみ使用できる。

a. appointment    b. demand    c. key    d. living    e. regeneration    f. temptation

問4 本文の内容と一致するものには T (= true) を、一致しないものには F (= false) を記入しなさい。

1. When she started farming, Cassells found it less demanding than she had initially imagined.
2. Cassells and Baer were able to get a piece of land which was much bigger than they originally planned.
3. Cassells and Baer have cut down a large forest to make a pasture where their cattle can roam freely.
4. Since their turnover isn't great, Cassells and Baer rely on the money given to farmers by the government.
5. Their farm's products are very popular and sell out quickly by mail-order.
6. The courses on farming are more successful this year than when they started.
7. To capitalize on the domestic tourism boom, Cassells and Baer are preparing a full-blown campsite.